

ANNEX

7

エビデンスのネットワークメタアナリシス：がん疼痛・突出痛管理（治療）の開始と維持のための鎮痛薬の比較

本資料は、『WHO ガイドライン：成人・青年における薬物療法・放射線治療によるがん疼痛マネジメント』（金原出版発行）の ANNEX7 における資料である。

原文より、推奨に関わる重要な項目を抜粋して作成した。

原文は以下の URL より取得可能。

<https://www.who.int/ncds/management/palliative-care/Cancer-pain-guidelines-Annex-7.pdf>

表1 治療に対する反応を比較した表 (Q1.2 鎮痛の維持)

治療効果とその信頼区間を、その確からしさごとにカラーで示した (セクション4の表1を参照)。表内の各項目の数字は、その行の左に示した治療薬剤と、その列の下に示した治療薬剤を比較したときの推定オッズ比とその95%信頼区間を示している。1よりも大きい値であれば、その行に示した治療のほうが好ましいことを示している。すなわち、NSAIDと弱オピオイド+アセトアミノフェンの比較では、オッズ比が2.96 (訳者注: 原書通りに記載しているが、表では2.86と記載されている) となり、NSAIDのほうがよりよい治療薬剤であることを示唆している。セクション4で取り上げたエビデンスの最終グレードで各項目を色付けしている。

NSAID	2.49 [0.80; 7.76]	2.28 [0.56; 9.27]	2.04 [0.72; 5.80]	0.89 [0.10; 7.76]	2.86 [0.71; 11.58]	5.31 [1.89; 14.96]
強オピオイド		0.92 [0.20; 4.19]	0.82 [0.25; 2.72]	0.36 [0.05; 2.71]	1.15 [0.25; 5.24]	2.13 [1.17; 3.91]
強オピオイド+ アセトアミノフェン			0.89 [0.35; 2.27]	0.39 [0.04; 4.08]	1.25 [0.51; 3.09]	2.33 [0.56; 9.64]
極めて弱い 確からしさ			弱オピオイド	0.43 [0.05; 3.76]	1.40 [0.55; 3.55]	2.60 [0.89; 7.60]
弱い 確からしさ				弱オピオイド+ NSAID	3.23 [0.31; 33.87]	6.00 [0.86; 41.69]
中等度の 確からしさ					弱オピオイド+ アセトアミノフェン	1.86 [0.45; 7.66]
高い確からしさ						プラセボ

2.2.3 感度解析 — 固定効果モデル

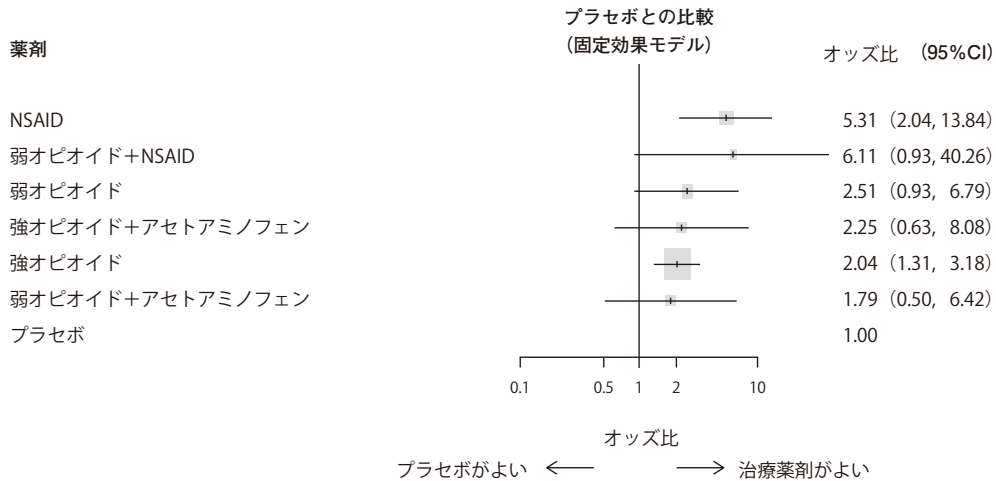


表 2 治療に対する反応を比較した表 (Q1.2 鎮痛の維持)

項目がマイナスの値をとるとき、行の左に示した治療薬剤のほうが列の下に示した薬剤よりもより好ましいことを示す。

セクション 4 で取り上げたエビデンスの最終グレードで各項目を色付けている。

カンナビ ノイド	-0.39 [-1.06; 0.27]	0.35 [-0.27; 0.96]	-0.03 [-0.75; 0.69]	-0.19 [-0.73; 0.34]	-0.39 [-1.22; 0.44]	0.15 [-0.51; 0.81]	0.77 [0.10; 1.43]	0.03 [-0.45; 0.52]	0.06 [-0.58; 0.71]	-0.06 [-0.64; 0.52]	-0.81 [-1.31; -0.32]
非オピオイド 鎮痛薬		0.74 [0.08; 1.39]	0.36 [-0.40; 1.13]	0.20 [-0.20; 0.59]	0.00 [-0.74; 0.75]	0.54 [-0.01; 1.09]	1.16 [0.60; 1.72]	0.43 [-0.13; 0.98]	0.45 [-0.24; 1.14]	0.33 [-0.12; 0.79]	-0.42 [-0.88; 0.04]
		NSAID	-0.37 [-0.81; 0.06]	-0.54 [-1.06; -0.02]	-0.73 [-1.55; 0.09]	-0.20 [-0.84; 0.45]	0.42 [-0.24; 1.08]	-0.31 [-0.70; 0.08]	-0.28 [-0.63; 0.06]	-0.40 [-0.97; 0.16]	-1.16 [-1.65; -0.66]
			NSAID+ 抗うつ薬	-0.17 [-0.82; 0.48]	-0.36 [-1.27; 0.55]	0.18 [-0.58; 0.93]	0.79 [0.03; 1.56]	0.06 [-0.49; 0.61]	0.09 [-0.34; 0.52]	-0.03 [-0.72; 0.66]	-0.78 [-1.41; -0.15]
				強オピオイド	-0.20 [-0.83; 0.44]	0.34 [-0.04; 0.73]	0.96 [0.56; 1.36]	0.23 [-0.16; 0.62]	0.25 [-0.31; 0.82]	0.13 [-0.09; 0.36]	-0.62 [-0.85; -0.38]
	極めて弱い 確からしさ				強オピオイド+ 拮抗薬	0.54 [-0.20; 1.28]	1.16 [0.41; 1.90]	0.42 [-0.32; 1.17]	0.45 [-0.40; 1.30]	0.33 [-0.34; 1.00]	-0.42 [-1.10; 0.25]
	弱い 確からしさ					強オピオイド+ 抗うつ薬	0.62 [0.06; 1.17]	-0.11 [-0.66; 0.43]	-0.09 [-0.77; 0.59]	-0.21 [-0.65; 0.23]	-0.96 [-1.41; -0.51]
	中等度の 確からしさ						強オピオイド+ NSAID	-0.73 [-1.29; -0.18]	-0.71 [-1.40; -0.01]	-0.83 [-1.28; -0.37]	-1.58 [-2.04; -1.11]
	高い 確からしさ							弱オピオイド	0.03 [-0.41; 0.46]	-0.09 [-0.54; 0.35]	-0.85 [-1.20; -0.49]
									弱オピオイド+ NSAID	-0.12 [-0.73; 0.49]	-0.87 [-1.42; -0.33]
										弱オピオイド+ 強オピオイド	-0.75 [-1.08; -0.43]
											プラセボ

3.2.3 感度解析—固定効果モデル

固定効果・頻度論的統計に基づくネットワークメタアナリシスを行い、ランダムエフェクトモデルの結果を裏付けた。

